



感覚統合療法で体感を鍛える効果的な方法の一つ
(3ページに記事)



- ✎ 言いたい放題! アッキー28号 (20) 短冊の願いごと
- ✎ 『私達の身体って素晴らしい! ~感覚統合の視点から~』 3
- ✎ 第11回やんちゃっ子キャンプ in ひらかた開催
- ✎ 鶴島昭雄さん(枚方在住)に聞く「戦争の体験」(14)
原爆と無差別爆撃
- ✎ 今月の五行歌
- ✎ 「むかしMattoの町があった」を觀ました
- ✎ イベント紹介 ✎ 編集局より/LIP配布場所/会計報告

「LIP編集局」 <http://www.love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス: lip@love-dugong.net

TEL: 070-5653-6913 (18時以降)

郵便振替口座 00920-8-120259 (LIP編集局)



私の上の子は、22歳。彼は自閉症という障害を持っている。平日は、送迎車で生活介護事業所へ。事業所では彼に合ったペースで内職の作業をしたり、納品について行ったり、午後はウォーキングをしたりする。そして、夕方送迎車で帰宅する。

事業所では季節行事も取り入れ、生活に変化をつけるような工夫をされている。7月は七夕ということ、1週間前に短冊を持って帰ってきた。7日に笹飾りをするから願いごとを書いて出してくださいと連絡帳にあったのに、はっと気づくと7日の朝。

しまった! もうすぐ送迎車が来る。「あなたのこと、ここに書くのよ」。慌ててそう言って、筆記具を持たせた彼の手に軽く私が手を添えてサポートした。息子の場合、心の中で思っていることがあっても、それを表現するのが難しい。手や指の巧緻性というより、むしろ自分の思いを外に発することに怖れがあるらしい。手首に軽く誰かが手を添えてやると、励ます効果があるように、そうしてやると、思っていることを彼は書くことができる。私たちはそれを「筆談」と言っている。

「送迎車が来るからね、ちょっと急いで」すると息子は、「ありがとう」と短冊に書いた。おお、よう書いた! なるほど、あんたらしいことを。そう私は思ったけれど、短冊には「願いごと」を書くのだった。ああ、説明が足りなかった……。

送迎車が来て担当の若い男性スタッフにそんなことを話すと、「おや、おうちでは七夕とかしないんですか?」と聞かれた。「で

言いたい放題! アッキー28号 (21)

短冊の願いごと

も、『ありがとう』と書いてくれる、その気持ちがあうらしいなあ」

やさしいスタッフさん、ありがとう。しかし、何事も余裕をもってやればいいのに、いつもギリギリまでほっておく私。そんな母の不足がイコール子どもの不適切に直結する。これは辛いなあと思いつつ、でももし彼にきちんと説明していただろう書いただろう。出会う人みんな大好きという脳天気な彼のこと、きつと「みんながしあわせになるように」とか書いたかも。その脳天気は母譲り。ま、いいっか。

ところで、「おうちで七夕」するのは、小さい子のいる家じゃないだろうか。うちでも笹飾りをしたことがあったけれど、子どもたちは全然喜ばず、一、二度でやめてしまった。小学校で、低学年の子らは学校で短冊を書いて笹飾りを作ったりする。でも、息子は養護学校(当時)に入学したので文字は習わず、短冊に願いごとを書くこともなかった。その後4年の時に息子は地域の小学校に転校したが、その学年ではもう七夕の飾りなど学校ではしなかった。

ただ、駅等で短冊に願いを書いて笹飾りに吊るすというイベントがあると、短冊をもらい、手を添えて息子に一言書かせて提出した。この子も社会の一員、イベントに参加している、そんな気持ちからだった。

思い出すと、切なくなる。そしてまた、連想して思い出すことがあった。七夕の少し前に開かれた、自閉症の人がゲストの講演会でのこと。お話の後の質問タイムで、「子どもの頃、どんなことをしてもらいた

かったですか?」という質問に対して、「もっとたくさんのお話を学びたかった。普通の子らがやっているように、算数や国語を勉強したかった」と彼は私たちのとは少し違う形の「筆談」で答えた。人から何かをしてもらうというより、自分で何かをしたかった。――その答えは深く私の心を打った。

さて、私はいえれば、子どもの頃短冊に「水道の水を飲みたい」と書いたらいい。それまで一度沸騰させた水を冷まして飲ませていた母はそれを見て仰天して、その後私は生水を飲めるようになった。お風呂であつい湯に浸かって、蛇口から水をぐくぐく飲む、あれはとてもおいしかったなあ。

子どもたちが短冊に託す願いとは、短冊を渡したおとなが思いもしないような、「自分でやりたい」「みんながやってくことを私もしたい」という、「簡単な」望みであったりする。では、もし天の神さまがいて、私たちの書く願いごとを見たら、いったいどんな風に思うのかしらん。

七夕の日、朝のうちの曇り空はだんだん晴れて、やがてからっと暑い夏空になった。



(著者プロフィール) 自称「アラカン兼業主婦」。上の子が自閉症で、パートの仕事と並行して、親の会的な活動や市民活動等に励んでいます。

*アラカン 六十歳前後。

『私達の身体って素晴らしい！～感覚統合の視点から～』 (3)

今回は前庭覚についてでした。

今回は固有受容覚について、お話いたしましょう。

固有受容覚とは聞き慣れない名前ですが、筋肉を使う時や関節の曲げ伸ばしによって生じる感覚です。

全身の筋や腱、関節、靭帯などに微小な感覚受容器があり、緊張や伸展などの変化を検知し、小脳に信号を送ります。送られた信号は、脊髄や視床を介して大脳皮質の体感感覚の中枢に届けられます。

これらの入力された感覚は脳の中でも意識的な自覚とはあまり関わりのない領域で処理されることが多いため、日常生活の中で私達はほとんど気付かずに過ごしています。

例えばただ座っているだけでも、お尻や足の裏にかかる体重の具合や、背中の筋肉の張り具合などの情報が無意識のレベルで脳に送られているのです。

例えば重い物を持つとすると、脳はこれまでの経験からおおよその力加減を推測して「このくらいの力で筋肉を収縮させましょう」と運動を指令しま

す。

固有感覚が上手く伝わり、前庭機能や視覚と協力して私達の身体の認識を高め、身体の動きのコントロールや運動プランニングを向上させてくれます。

野球のボールを投げる、スケートでバランスをとる、サッカーでボールを蹴る、片足バランスといった大きな動きから、鉛筆をつかむ、文字を書く、絵を描く、ハサミで紙を切る……など、すべての運動発達ステージにおいて、身体とその各パーツを効果的、経済的に動かす能力を促進してくれます。

さあ、電車の座席に座った時や食卓椅子に座っている時にも、私達の固有感覚を感じてみてください。

(参考資料:協同医書出版社「子どもの理解と援助のために感覚統合 Q& A」

集英社「ここまでわかった脳と心」)

音楽療法士 木村久美子

福島から子どもたちを迎えて

第11回やんちゃっ子キャンプ in ひらかた開催されました！

2012年夏から、春と夏の学校の休暇中に、枚方市内とその周辺で保養キャンプの取り組みを行っている「やんちゃっ子キャンプ in ひらかた」(「やんちゃっ子ひらかた」主催)。この夏も7月23日(日)～27日(木)、福島から中学生1人、小学生5人、幼児2人と保護者2人を迎えて行われました。

宿泊先は、枚方市楠葉野田の「あぢゃ」と「ちょこっと」。4泊5日で、ひらパーのプールに行ったり、私市で川遊び、グループに分かれてモール街でショッピングしたり古本市場へ。スーパー銭湯でのんびりしたり、夜は花火をして、「枚方で夏休み」を満喫しました。

「子ども達の中には何度も参加してくれる子もいます。中にはクラブ活動や受験で来れない子もいます。でも、応援していることを伝えたりして、ずっと関係性を持っています。友達というか、遠い親戚みたいな……」と、ボランティアスタッフの甫喜本英雄(ほきもと・ひでお)さん。

食事作り、送迎、見守り、そして、子どもたちと



安心・安全な食材で、ボランティアスタッフが手作りで食事を作ります

一緒に遊んでくれる、ボランティアの皆さんの力に支えられ、この夏も無事にキャンプを行うことができました。

(文: LIP編集局 豊高明枝 写真: 甫喜本英雄)

今年6月19日、広島女子勤労学徒だった報道伝達担当の岡ヨシエさんが86才で他界された。昭和20年8月6日、広島に原子爆弾が投下された直後、彼女は{広島に新型爆弾投下さる。広島は全滅!!}と中部軍管区司令部に最速打電した。司令部からの報告を受けた大本営は{広島に新型爆弾攻撃有り、相当の被害}と発表し、彼女の電文は握り潰された。東京、大阪大空襲の被害についても、{米軍の無差別空襲により、火災発生するも国民の士気は衰えず!}とのみ報道して甚大な被害を隠蔽して憚らなかった。私の実家があった兵庫県西宮市は、原爆投下前日の8月5日、米軍の焼夷弾攻撃により阪急神戸線以南が焼け野原になった。私は父と断絶状態になっていて、富田林の養父母の元にいたので、この惨劇は体験していない。両親は、火勢が強く焼夷弾攻撃が激しくなったので、隣組の人達と共に夙川の堤防に避難し、無事だったが家は全焼した。

アメリカ軍の焼夷弾は、極めて強力な油脂弾で、断面は一辺約6センチの五角形、長さが60センチもあり、36本ずつ結束され、投下されると目標上空300メートルで結束が解けてバラバラになり、火を噴きながら半径100メートルの範囲に落下する。このような焼夷弾の束が何百となく投下されたのだから、人々は逃げ遅れて焼死し、建物は全て焼失したのは当然であった。両親は、阪急夙川駅近くの焼け残った友人の家の二階にひとまず落ち着いた。私が養父と共に西宮に駆けつけたのはその3日後だった。翌日、ソ連が日ソ中立条約を破棄して日本に宣戦布告し、満州に攻め込んで来た。しかも、長崎に2発目の原爆が投下された。

この時、半ば放心状態の実父は、「馬鹿な戦争をするからこんなことになる。軍部は日本を潰すだろう。本土決戦になれば2週間で全ては終わり、国民の過半数は命を落とす。残念だが、どうする事も出来ない」と言った。何故か、軍国少年の私はこの時ばかりは反論する事が出来なかった。事態が余りにも厳

しかったからである。抵抗らしい抵抗も受けず、やりたい放題の米軍の攻撃に家まで失ってしまうと{果たして本土決戦で日本は勝てるのか?}と考えるてしまう。

しかし、神国日本が負けるはずは無い、全国民が戦いの鬼となって命をかけて戦えば、アメリカ軍は膨大な人数の戦死者を出して敗走するかも知れない。家を失って呆然としている時ではない、と思い決めて軍人勅諭を大声で暗誦した。

{本土決戦の時が来たのだ} 私は跡形も無く焼失した我が家の焼け跡に立って無理矢理自分を励ました。今にして思えば、洗脳された自分はISの少年

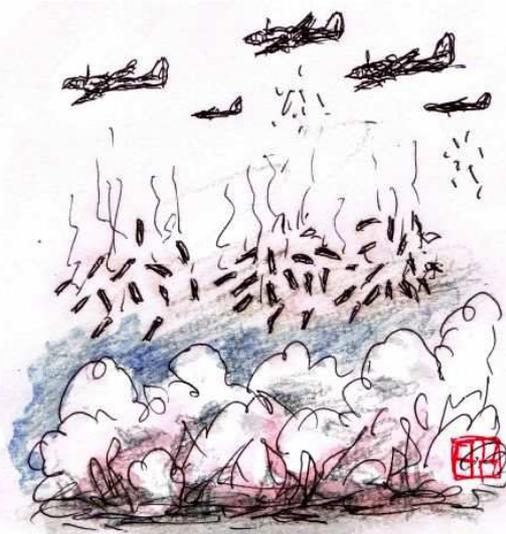
戦士そのものだった。改めて新型爆弾を含む米軍の無差別攻撃を心から憎み、奥歯を噛み締めた。そんな私を実父は最早反論する価値も無いと諦めたのか悲しそうな目で見つめていた。

私たち菊水報国隊全員は、焼け付くような真夏の日々を相変わらず戦闘機の部品造りや松根油採取資料報告に費やしていた。戦争さえなければ8月は中学生にとって楽しめるべき夏休みシーズンであるが、たまに学校に戻れば、黒板に「夏休み返上」の文字が躍り、配属将校による本土決戦教練が待っていた。

昭和20年8月15日、日本はポツダム宣言を受諾し、戦争は終わった。私達国民は、この瞬間までポツダム宣言を知らなかった。今後世界的な戦争が起これば、その結果は{負けました}で済まされない。人類の滅亡で終わる事を忘れてはいけない。

文/画 鶴島昭雄

鶴島昭雄さん(枚方在住)に聞く 「戦争の体験」(14) 原爆と無差別爆撃



LIP連載をまとめた本が完成しました!
「少年期は 戦争中だった」

枚方市在住 鶴島昭雄さんの戦争体験

- ◆A5判56ページ 手製本 頒価500円(郵送希望の方は+180円)
- ◆一冊ずついねいに手作りしています。問合せ:LIP編集部
- ◆電子書籍も頒布開始。アマゾンで「鶴島昭雄」で検索してください。

先回にちょっと触れましたが、今回は大阪が浪華と言われるズッと前のお話をしたいと思います。皆様よくご存じのお初天神が大阪湾の八十島にあって、その土地のお宮さんである事は以前にお話ししました。今回はそれよりもまだ前の弥生時代や古墳時代のお話をしたいと思います。

大阪湾は今よりもズッと入り込んでおり、東は生駒山脈の下、東大阪市の辺り、東北は森小路に集落跡が見つかっておりその辺りまでは大阪湾だったと思われます。古い話でよく言われる事は、大阪湾に鯨が泳いでいたというお話です。それほど大阪湾は入り込んでおり、今の大阪市はほとんどが海でした。

この様に大阪は前は海で瀬戸内海へ繋がっており、南は紀伊山脈で守られており、西は中国四国が在り、東は山に囲まれている安全な地なのですが、ただ北側は昔から変化に富んだところで、大阪の北には我が国最大の湖「琵琶湖」が在り、その大量の湖水の流れ出るところが、唯一瀬田川なのです。それが宇治川になり、京都の南から大阪に流れ込んで来ます。この宇治川を初めとする、木津川、桂川等のもたらされる土砂と淡水でだんだん海が浅くなり浪速潟と呼ばれる干潟が出来る様になりました。それに加えて大阪湾の入り口に大きく横たわる上町台地が浪速潟の水や土砂を堰き止める格好となり、2世紀から3世紀にかけて完全に瀬戸内海から切り離され河内湖と呼ばれる湖になってきました。

浪速は丘陵地帯には人が住んでいましたが、だんだんと低地にも住む様になりその対策に追われ、河川の付け替えや改修工事、それに加えて、人々の住める土地を確保するための築堤にも力が注がれました。「茨田の堤」、「太閤堤」など又「強頸絶間」や「長柄の人柱」のお話など今では忘れられたお話がこの辺りの湿地帯には数多く残っております。

河内湖も琵琶湖・京都からの砂や土砂には抗しきれずだんだん浅くなり、何本かの河川を残して陸地化して来ました。そして低地にも人が住む様になり、為政者による治水がそれを助けました。その結果一番低かった京都の南部、伏見の辺りに大きな水たまりが出来、それが「巨椋池」です。

この池は大きく周囲十六キロメートル、水域面積八平方キロメートルもありました。又太閤さんによる伏見城建設の時の築堤などその姿を色々変えましたが、今ではこの辺りに島の付く地名が多く残る程度でその姿を見ることは出来ませんが、干拓されるまで(昭和八年(1933)から昭和十六年(1941)にかけて干拓)「巨椋池」は存在しました。

話は変わりますが大阪城がなぜ難攻不落の堅城だったのでしょか、太閤さんはなぜ此所を選んだのでしょうか？ それは此所が守るに堅固な場所だけでは無く交通の要所だったからです。此所には元々浄土真宗の石山本願寺がありました。石山本願寺は宗教団地にも拘わらず、一揆を起こして時の為政者織田信長に敵対し、石山本願寺に立て籠もり、信長があの手この手で攻めても落ちず最後は和睦する事になりました。それに目をつけた太閤秀吉は難攻不落の大阪城を築きました。この城は南側は堀を築いて攻め辛くしてありますが、西は海、しかし東は何の防御もされていません。この様に大阪城の東側は門真、守口を初め、東大阪にかけて沼地が多く大軍を動かすことが出来ないのです。太閤殿下は石山本願寺の姿から守るに安く、攻めるに難しい浪速の地形を生かして大阪城を築きました。お城は山の上とか海に飛び出た所など戦略的だけに優れた所選ばれ勝ちですが、この浪速は戦略的だけで無く前は海で大きく太平洋に連なっており世界に羽ばたく

交通の要衝でも在りました。この様に大阪城は浪速の地形を十分に生かした日本でも数少ない城郭だと思います。話は変わりますが天満橋の交差点のちょっと東のところで、南から延びてきた上町台地が、土佐堀川に面してストーンと下がっています、その坂の途中に加藤清正の屋敷跡の碑が在ります。この辺りの上町台地には、長柄豊崎野宮の内裏跡を初めとして、門戸を川サイドにした倉跡等弥生時代の遺跡が各所に見られます。見方によってはこの辺りで上町台地が切れている様に感じますが、台地はもっと長く南に延びていたのでは無いかと思われます。古墳時代に入った頃河内湖の水を少しでも多く大阪湾に流すために「浪速堀江」と称する運河を掘削したという話があります、それはこの大川の辺りでは無いかと思われます。と言いますのは上町台地がこの辺りで急に途切れる様に坂になっていまして其処を淀川の別れ「大川」が流れております。これは推測で確認はありませんが地形から考えてそうでは無いかと思われます。

又これは全然別なお話ですが、JRの天王寺駅の環状線が一段下を走っているのは皆様ご存じのことと思いますが、それは動物園の辺りから半地下の様な所を走っていますが、この堀の様な所はその昔浪速湖の水を大阪湾に流そうとして堀川を掘削し始めましたが岩盤で掘り進むことが出来ず途中でやめた跡だと言われています。

今の大阪も一朝一夕に成ったわけでは在りません、国を治めるにはまず治水からとの合い言葉で日本という国が出来上がって来ました。梅雨末期の集中豪雨で事件が起こるたび、日本の国を住みやすくするため常日頃もっと治水に心を遣う必要があるのではないのでしょうか。

思い出話 浪華から大阪へ (7)

LIPが選ぶ

今月の五行歌

キミとボクの

推進力

引きあうより

反発しあつて

生きていく

墓場まで

持って行く話の

二つや三つ

誰にでもあるよね

と言った人が逝く

知らぬ間に

オトナになった

息子よ

手をつないで歩いていたのは

何歳までやったっけ

とよたか

坂口壽樹

ちえこ

【五行歌ひらかた歌会】

☆毎月一度月曜日午前10時半〜12時半、メセナひらかた諸活動室で集まっています。八月はお休みです。

問合せ akkie.toyotaka@gmail.com
または 090-5893-5635 (とよたか) まで

イタリアの精神保健改革の最初の20年間を描いた映画「むかしMattoの町があった」を観ました

7月15日(土)・16日(日)メセナひらかた会館で、枚方市制施行70周年記念事業「ほっこりひらかた2017」が開催。15日午後には、人工呼吸器ユーザーの暮らしを追ったドキュメンタリー映画「風は生きよという」(『LIP』2016年3月号に紹介記事)、16日にはイタリアの映画「むかしMattoの町があった」が上映されました。

16日上映された「むかしMattoの町があった」は、2010年2月7日・8日イタリアの国営放送局で放映され、2日とも21%の高視聴率をあげたというテレビ映画です。Mattoとは、イタリア語で「気の狂った人」。「あほやなあ」と関西弁でいうような感じで、日常的に使われる言葉だそうです。第1部96分、第2部102分という大作をお昼の休憩をはさんで鑑賞、その後日本の精神保健の現状について半時間の講演を聞きました。

映画は、1961年イタリア北東部のゴリツィア県立病院長に就任したフランコ・バザーリアが中心となって推し進め、1999年には精神病院が廃止された、イタリアの精神保健改革の様子を、ドラマチックに描きます。自傷他傷の危険があるからと拘束衣を着せられ両足を縛られて、ポタージュ状の食事を看守の手で口に注がれる患者、騒ぎを起こせば頭から布をかぶせられて水攻め、さらに電気ショック。人間の尊厳を奪われ

た入院患者の「人間化」に取り組むバザーリア。それに共感して共に闘う若い医師たちや看護師、次第に「人間性」を取り戻し自分自身を表現していく患者たち。簡単には進まない改革への努力のなかで、傷つき悩み、「もうダメか？」と自問しながら、仲間に支えられ、生きていく姿。社会、家族、人間って何だ?と心揺さぶられました。

第2部の終了後看護師の有我譲慶(ありが・じょうけい)さんから、お話を聞きました。日本の病床の2割は精神科、増え続け深刻化する強制入院、強制入院の比率は欧州諸国の10数倍であること、隔離・身体拘束が乱用されているという現状を聞きました。地域によっては「患者に寄り添う」地域精神保健ががんばって行われているのだけれど……ということ。そんななかで、今私たちにできることは、精神病への偏見をなくしていくこと。「精神病患者は、人生の危機を抱え、苦悩が最大化した人」と捉えるこの映画を観れば、理解が進むのではないのでしょうか。この映画のDVD(日本語字幕版)は、『精神病院はいらない! : イタリア・バザーリア改革を達成させた愛弟子3人の証言』(大熊一夫編著、現代書館、2,800円+税)という本に付録としてついています。

(とよたかあきえ)

イベント・サークル・ボランティア情報

西谷文和講演会
戦場取材から見た『戦争の実態』
—平和な世界をどう作るか—

日時：9月9日(土) 午後2時～4時
会場：交野市ゆうゆうセンター2F体験学習室
(JR河内磐船駅下車歩2分または京阪河内森駅下車歩6分)
講師：西谷 文和さん(フリージャーナリスト)
主催：憲法とくらしを考える会
連絡先：072-892-4938(事務局)
参加費：500円(飲物・お菓子付)

西谷文和さんは主に中東・アフリカ地域を取材し、テレビや新聞で現地情報を伝えておられます。西谷さんは、取材を通じて平和の切り札は「北風より太陽」。日本にできることは、テロの恐ろしさを強調し、強硬路線を取る米国などに加担して憎しみの連鎖を招くことではなく、子どもへの援助や難民支援であるべきだと説いておられます。

ぜひ、西谷さんのお話を聞きにいらして下さい。

「枚方自閉症児(者)親の会」9月例会

日時 9月6日(水) 10時～12時AM
場所 ラポールひらかた4階・共有ルーム

連絡先 鬼塚 072-841-3515
春名 072-397-0053

第1回学習会〈障害者の親亡き後を考える〉

◆8月23日(水) 10時受付 10時30分開始 3時半終了予定
会場 ラポールひらかた 4階大研修室
第1部 講演 NPO法人医療ケアネット 杉本健郎氏《グループホームは終の住処か?》
第2部 ワークショップ(意見交換)
参加費：500円(事前にお申し込みください)
申し込み連絡先 森田洋子 090-2117-7043
Moritayo@arrow.ocn.ne.jp

食と暮らしのマーケット/草々徒夏祭り

■日時：8月6日(日) 10:00-16:00/17:00-20:00
■会場：意賀美神社/草々徒
■主催者および連絡先：ルポ・デ・ミディ
072-843-1525 www.repos-de.com
■参加費用：なし(ワークショップなど、別途費用にて開催)
■京阪枚方駅と枚方公園の間に位置する意賀美神社にて、昔ながらの食と暮らしの良さを伝えるマーケットを開催。和太鼓やフラダンス、シャボン玉遊び、ヨガ、ランタン作りなどのワークショップも。(市制施行70周年記念協賛事業)

無添加石けん商品・手作り作品販売のお知らせ

・バザー
8/23(水)：市役所前の岡東町公園にて 10:30～
・廃油回収
9/19(火)：サプリ村野玄関前にて 10:30～12:00
お近くにお越しの際にはぜひいらして下さい。皆でお待ちしております^^
障害者労働センター 枚方市中宮山戸町10-12-101
TEL 072-848-0508
ネットショップ URL:<http://paso0508.cart.fc2.com>

音楽でリフレッシュ!

～思いっきり声を出して歌ってみませんか!～

◇日時：8月17日(木) 14:00～15:30
場所：サンプラザ生涯学習市民センター 5階視聴覚室
◇参加費：500円(初回無料)
申し込み・問合せ先 音楽でリフレッシュ! 担当：中嶋
TEL：072-840-5493



LIPは、次の場所に置かせていただいています。

- ★ 各生涯学習市民センター・図書館・メナひらかた3Fウィル・ひらかたNPOセンター
- ★ 枚方市ボランティアセンター [ラポールひらかた内 072-841-0181]
- ★ 子ども家庭支援センター ファミリーポートひらかた [枚方市沼田南町 2-50-1 072-850-4400]
- ★ コミュニティカフェ ラテール [枚方市西禁野 1-3-27 禁野口バス停前 072-848-0418]
- ★ NPO法人 りのあん [枚方市長尾元町 6-39-15 llian@kcat.zaq.ne.jp]
- ★ 婦人洋品店 シヤルム [枚方市南楠葉 1丁目 2-16 ぐずは公民館向かい 072-850-1362]
- ★ 喫茶 Dik Dik [枚方市岡本町 8-17 072-846-5377]
- ★ 街かどビエハウス 藤阪愛逢 [枚方市藤阪元町 2-27-1 072-855-6978]
- ★ 泉屋 桶薬店 [枚方市楠葉並木 2-2-2 072-868-3060]
- ★ WAVE34(ボウリング場) [枚方市田口 4-11-8 072-848-0450]
- ★ 枚方市地域包括支援センター社協こもれび [枚方市南楠葉 1-30-1 エクセレントビル 203号室 072-856-9177]
- ★ 身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ [枚方市堤町 2-1-103 072-861-6360]
- ★ 京阪総合会計事務所 [枚方市西禁野 2-4-17 第5松葉ビル 301 072-805-5252]
- ★ ヘアースタジオばべば [枚方市南楠葉 2丁目 4-3 072-850-9070]
- ★ 枚方市役所(市民活動課・環境総務課・人権政策室) [枚方市大垣内町 2丁目 1-20 072-841-1221]
- ★ 枚方市役所 津田支所 [枚方市津田北町 2-25-1 072-858-1502]
- ★ (財)枚方市文化国際親善団 [枚方市岡東町 8-33 市民会館内 072-843-1122]
- ★ 枚方市総合福祉センター [枚方市津田東町 2-26-1 072-858-5835]
- ★ (社福)やなぎの里 精神障害者通所授産施設 ぼびるす [枚方市大字尊延寺 2200 072-859-0245]
- ★ NPO法人パーソナルサポートひらかた [枚方市中宮山戸町 10-12-105 072-848-8825]
- ★ 自閉症療育センター Link [枚方市岡東町 24-10 アイエス枚方ビル3階 072-841-2411]
- ★ 紅茶専門店VIE [枚方市南楠葉 1-1-34 072-856-2355]
- ★ shot bar カボチャソース [枚方市枚野下島町 14-22 072-809-7676]
- ★ ポパイ商店 [枚方市山之上 2丁目 16-9 072-846-7232]
- ★ えほんのお部屋ひまわり畑 [枚方市香里ヶ丘 12丁目 6-28 090-6739-7064]
- ★ クッキー工房おれんじばうす [枚方市交北 3丁目 3-10 072-856-8378]
- ★ 陶器食器のお店 a new sprout [枚方市堤町 2-14 072-846-9550]
- ★ 雑貨/カフェ ルポ・デ・メディア [枚方市堤町 10-12 072-843-1525]
- ★ 渦潮ペーカリー桶薬店 [枚方市町楠葉 1-30-6 072-856-5420]
- ★ 輝きプラザ「きらら」 [枚方市車塚 1-1-1]
- ★ 教育文化センター [枚方市磯島北町 37-1 050-7102-3150]
- ★ 三代目たくちゃん ピーコ [枚方市枚野阪 2丁目 7-30 080-3785-1728]
- ★ MIKIHOUSE キャラメル [枚方市枚野阪 2-9-15-105 072-857-6626]
- ★ 株式会社 丸天酒店 [枚方市枚野阪 2-5-23 0120-39-7003]
- ★ MogaJogaDining 枚方宿 [枚方市堤町 2-15 072-846-3535]
- ★ カフェレストラン 風鈴火山 [枚方市枚野阪 2-5-19 072-856-3799]
- ★ くずはホーム [枚方市大字尊延寺 4592-24 072-858-4058]
- ★ 音楽療法スペース ウッドヴィレッジ [枚方市枚野下島町 9-12 070-857-3540]
- ★ みんなでつくる広場「ちよこつと」 [枚方市楠葉野田 2-30-8 072-856-9439]
- ★ スパイルイ枚方南 [枚方市津田山手 1丁目 24-1 072-808-4126]
- ★ やすらぎの丘霊苑 [枚方市大字尊延寺 4588番 4 072-896-1212]
- ★ 苺のいえ [枚方市甲斐田町 5番 25号ウエストヒルズ102号 072-805-2660]
- ★ ちよこつと みんなの里 [枚方市楠葉並木 2-28-4 072-845-6814]
- ★ 韓国茶が楽しめるカフェ「Cafe Cajjo」 [西禁野 2-8-3 072-848-8481]
- ★ くずはアートギャラリー [枚方市楠葉花園町 15-1-Z302 本館ハナモール 3階]
- ★ カフェ ルポ [枚方市高田 2丁目 20-17 072-396-8785]
- ★ 「市民の広場」ひこぼえ [枚方市大垣内町 2-8-27 シンエービル別館 A室 072-846-8780]
- ★ 街かどビエハウス秋桜 [枚方市宗谷 1-1-1 072-859-3991]
- ★ 明日花障害者作業所 [枚方市西禁野 1丁目 3-18 072-848-2324]
- ★ 陽だまりの会 [枚方市交北 2丁目 7-15 072-809-0015]
- ★ Lin Brun. [枚方市枚野下島町 18-7 072-865-3514]
- ★ カミュ [枚方市枚野下島町 13-11 072-865-7310]

- ★ フレッシュペーカリー ラッキー [寝屋川市早子町 18-1 072-821-0413]
- ★ ヘアーサロンおおまち [交野市私部 3-17-2 072-891-5024(予約優先)]
- ★ 小規模通所授産所施設 ミルキーウェイ [交野市天野が原町 2丁目 14-20]
- ★ 交野市役所内ひまわりネット [交野市私部 1丁目 1-1]
- ★ ギャラリー天野が原 [交野市天野が原町 15丁目 20-5]
- ★ Cut wa Coconi [交野市梅が枝 55-13 072-893-0020]
- ★ むく福祉会 ワークホーム れっつ [綴喜郡宇治田原町 寶田船戸 38-1 0774-88-5846]
- ★ ベビーフェイスプラネット松井山手 [八幡市欽明台北 1 ソフィアモール内 075-982-3271]
- ★ 「月桃の花」歌舞団 十三スタジオ [大阪市淀川区木川西 3-4-20 2F 06-6885-8475]
- ★ ふらつとねやかひ [寝屋川市東大和町 2-14(市立産業振興センター5階) 072-800-5789]
- ★ ふれあいプラザ香里 [寝屋川市香里南之町 19-17 フレスト香里園 4階 072-835-3335]
- ★ 大阪府衛生会附属診療所 [高槻市奈佐原 955 072-696-3351]
- ★ 宇治田原社会福祉事務所 [綴喜郡宇治田原町 荒木天皇 2 0774-88-2394]
- ★ 西宮男女共同参画センター ウェーブ [西宮市高松町 4-8 0798-64-9495]
- ★ 大東市立生涯学習センター アクロス [大東市末広町 1-301 072-869-6505]
- ★ フェルデンハウス北斗星 [寝屋川市萱島東 1丁目 16-15 070-5435-1965]
- ★ 青年の家 [交野市私部 2丁目 29-1 072-892-7721]
- ★ 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター) [大阪府中央区大手前 1丁目 3-49 06-6910-8500]

イラスト 表紙、P7：平井由恵 P2：よし美

応援ありがとうございます！

LIP 応援団

匿名希望さん 安部晴代さん

LIP 会計報告 (前号以降)

金額(円)	内容
49,954	前号から繰り越し
2,000	「少年期は……」×5冊
2,000	応援団寄付
▼420	郵送代
▼500	7月ロッカー代
▼4,170	7月号印刷代
48,864	計(次号へ繰り越し)

■ひらつーで「山之上西町の住宅街の中に「樫本」という無農薬・有機栽培の野菜を使ったバイキングのお店ができてる」という記事を見かけて、朝食に出掛けました。540円でパン、御飯、サラダ、焼魚、野菜炒め、目玉焼、味噌汁、ヨーグルト、コーヒーを飲食してきました。帰りにピーマンの苗を頂きました。「色々な方々に来て頂きたいが5名以上は予約をお願いしたい」との事でした。個人的には大満足でした。
「樫本」住所：枚方市山之上西町8-6-1 (m)

■LIPは市民が伝えたいことを書き、市民が印刷し、市民が配布する地域密着型情報紙です。あなたも紙面に登場してみませんか？

「枚方市民にだけ」
読んでほしい情報サイト

枚方つーしん 検索